

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州民俗芸能継承推進事業
事業主体 (連絡先)	南信州民俗芸能継承推進協議会 (南信州広域連合事務局内 0265-53-7100)
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,973,340 円 (うち支援金: 536,000 円)

事業内容

- 1 ウェブサイトの活用による情報発信
民俗芸能団体の活動を発信
- 2 長野県立歴史館出張講座の開催
日時 令和2年11月21日(土)
場所 県立歴史館
内容 南信州の民俗芸能についての講演
参加者 24名
- 3 民俗芸能カレンダーの制作・配布
小中学校の児童生徒、企業、役場、公共施設等に配布
- 4 企業等による協力体制の構築
パートナー企業の登録数が101社に増加
啓発用のぼり旗を配布



【長野県立歴史館出張講座の様子】

【目標・ねらい】

- ・民俗芸能継承の意義を地域全体で共有
- ・民俗芸能の継承活動を通して地域を見つめなおし、地域資源の発見に繋げる
- ・南信州地域の誇りとして、民俗芸能継承を通して持続可能な地域を目指す。

事業効果

当初計画していたほとんどのイベントを新型コロナウイルス感染症対策のために中止し、残念ながら想定していた効果を上げることはできなかった。

そうしたなかでも県立歴史館出張講座は参加者24名と数は少なかったものの、無形民俗文化に関心を持つ層に対して、しっかりと南信州の民俗芸能をアピールすることができたし、また、ウェブサイトや広告、啓発物等を通して「継承の意義」を伝えることはできた。共有化が進んでいる証拠に飯田信用金庫による通帳への写真やロゴマークの表示、飯田エフエム放送による番組制作などのほか、多数のパートナー企業から寄付金をいただくなど、継承を応援する取組が地域内で広がりを見せつつある。

「地域資源の発見」や「持続可能な地域づくり」は長期的な目標であり、時間をかけて取り組んでいきたい。

※自己評価【C】

【理由】

コロナ禍にあつて当初計画した啓発イベントのほとんどが実施できなかった。

今後の取り組み

地域内で人口減少、担い手不足が進行する中、地域内外で新たな民俗芸能のファンづくりに取り組み、新たな支援者の獲得と担い手のやりがいにつなげていきたい。

また、多様な主体が役割を認識し、地域一丸となって民俗芸能の継承に取り組む気運を醸成していきたい。

